

花と緑の銀行だより

234号 2025.1



となみチューリップフェア（写真：砺波支店）

目次

- ・花と緑の提言 砺波市の花と緑のまちづくり（砺波支店）・・・・・・・・・・ 2
- ・技術講座 生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草（第3回）（職藝学院 渡邊美保子）・・・・ 3
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～アセビ～（樹木医 西村正史）・・・・ 4
- ・ステップアップ研修に参加して（富山支店 神保地方銀行 頭取 中村 勇）・・・・・・ 5
- ・とやまの花壇 ～南砺市 玉成花壇愛好会～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・この人あり 花大好き仲間の紹介（立山支店 五百石地方銀行 頭取 村田 彰）・・・・・・ 7
- ・報告及びお知らせ 花と緑の大会など・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7



砺波市の花と緑のまちづくり

花と緑の銀行 砺波支店長
砺波市長 夏野 修

「花や緑を愛し 美しいまちをつくります」

これは砺波市の、市民憲章の第一条の言葉です。県の花、市の花である、チューリップをはじめ四季折々の美しい花々や散居に広がる屋敷林などの豊かな緑は、私達に安らぎや潤いをもたらし、住みよさや幸せが実感できる「住みよいまち」の評価にもつながっています。これも、先人のたゆまぬ努力と、それを受け継いできた温かく心豊かな市民の皆さんによる取り組みの成果と考えています。

花と緑の銀行砺波支店では、各地方銀行で管理する花壇や公共施設等に花苗やチューリップ球根、さらには宿根草や緑花木を配布し、市内150カ所余りの花壇を花々で彩っています。各地区や学校で愛情をもって管理された花壇は、市の花と緑のコンクールや県の花のまちづくりコンクールに毎年出展いただき、優秀な成績を収めています。このほか市内の保育所や認定こども園では、毎年チューリップの水栽培セットを贈り育ててもらう「チューリップの学級づくり事業」や、市内小学校児童を対象に、砺波チューリップ公園周辺の花壇にチューリップ球根を植え込む体験事業を行い、子どもの頃から花や緑を愛する心を育てています。

また、市のグリーンプランに基づき地域の緑花活動の活性化を図るため、令和3年度から緑花の普及と推進にご賛同いただける事業所等にプランターや花苗、球根等を配布する「花いっぱいパートナー事業」を実施しています。現在30余りの事業所に登録いただき、事業所周辺を花で彩り、花と緑のまちづくりの推進にも一役かっただけいでいます。



写真1 花いっぱいパートナー事業

さて、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、砺波チューリップ公園を主会場に開催している「となみ

チューリップフェア」は、国内外から毎年約30万人の来場で賑わう本市の春を代表するイベントであり、各地方銀行の頭取及びグリーンキーパーの皆さんには「花のお・も・て・な・しボランティア」として、会場内の花の手入れのほか、「花さじき」として設置するプランターへの植込みにも協力いただいております。フェア終了後には使用したプランターを市内の地方銀行に配布して、地区の緑花推進にも活用しています。



写真2 花さじき



写真3 花さじき植込み

市民の皆さん一人一人が、花や緑とのふれあいや緑花活動を通じて、その素晴らしさを再認識し、地域の緑花に愛着と誇りを持っていただくことにより、この「花と緑のまち砺波」を次の世代へ引き継ぐことが大切であるとの考えのもと、これからも、市民、企業、団体の皆さんとともに「花と緑のまちづくり」を進めていく所存です。

生態系に被害を及ぼすおそれのある宿根草(第3回)

職藝学院

教授 渡邊 美保子

1990年代のガーデニングブーム以降、外国産の宿根草が数多く植栽されるようになりました。近年、生態系と生物多様性を守るため環境省が「我が国の生態系に被害をおよぼすおそれのある外来種リスト」を作成して注意喚起を行うようになりましたが、園芸業者やガーデンデザイナーには浸透していないのが現状です。環境省の外来種リストになくても、タネが風で飛ばされて庭園外で繁殖する可能性があるのではないかと疑いたくなる宿根草もあります。

たとえば、北アメリカ原産のアカバナ科のガウラは、初夏から秋まで長く開花する宿根草です(写真1)。1株から多数のタネを作ります。タネは下から順に熟して地面に落ち、秋には発芽して越冬します。たまたま光を遮らない場所で芽生えた実生は、春に一気に大きくなります。これを放置しておくと花壇はいつの間にかガウラでうめつくされることとなりますので、実生が確認できたらなるべく早く抜き取ることをおすすめします。ゴボウのような根を持つため抜き取りにくくなるからです。



写真1 ガウラの桃色矮性品種。タネがこぼれて発芽した株。6月の様子。5月から11月まで開花する間に大量のタネを落とす。ガウラの寿命は長いので、この1株を残し、実生をすべて抜き取っている。

また、ガウラは開花期間が長いので、開花期間中に花茎を切り戻しても再び開花します。タネが完熟する前に月に一度ほど切り戻しを行うと、結実するタネを減らすことができます。定期的に切ることで草丈を抑えることもできます。

ヨーロッパ原産のセリ科のオルレアは、5月から

7月にかけて白いレースのような可憐な花が咲くことから近年植栽されることが多くなりました(写真2)。日本では夏の暑さで7月末には枯れてしまっていますが、大量にタネを作ります。そのタネが花壇に落ちて秋には地面いっぱい芽生え、まるで緑の絨毯のように広がります。これが冬を越して、翌年いっせいに開花します。雑草よりも強健です。タネは軽いので風に飛ばされると遠くまで運ばれますので、近くに草地などがある場合は注意が必要です。



写真2 オルレア。1株植えたあと、こぼれタネを放置した2年後の様子。左上のクサキョウチクトウの株の中に落ちたタネも発芽している。現在は、すべて撤去している。

ほかにも、フランネルソウ、バーバスカム、ルドベキアなど、タネが風で飛ばされやすく発芽率が高い宿根草は、花壇で実生を見つけたら抜き取るか、植栽しないことをおすすめします。

人の持ち込んだ外来種のうち10%が人の管理の外に出てしまい、そのうち10%が野外で繁殖し持続し続けることができ、さらにそのうち10%が生態系・経済に影響をもたらす侵略的外来種になるといわれています(Williamson & Fitter 1996)。これを10%則といいます。庭園で栽培している宿根草が逸出して生態系に影響を与える可能性は、ゼロではないということです。外国産の宿根草を栽培するときには大切なことは、観察力を養うことです。特にこぼれタネでどんどん増えてゆく種類については、人がコントロールをしながら育てる管理方法が必要です。

庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～ アセビ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

春先に小さな花をたくさん咲かせる樹木の1つにアセビがあります。我家の庭にも1本のアセビがあり(写真1)、毎年たくさんの花を咲かせています。今回はアセビについて紹介します。

1 特徴

アセビは、小さな花を房のようにたくさんつけるツツジ科アセビ属の耐寒性の常緑低木です。漢字で馬酔木と書きますが、ツツジ科特有のアセボトキシンという有毒成分が含まれているため、馬が食べると神経が麻痺し酔ったような状態になることに由来しています。かつては葉を煮出して殺虫剤としても利用されていました。

花はスズラン(鈴蘭)やドウダンツツジの花に似ており、下垂して白または桃色の花を咲かせ(写真2)、秋にはさく果となり(写真3)、この中に種子があります。

古くから親しまれた樹木で、庭木や盆栽などに使われています。

2 維持管理

乾燥しすぎず、水はけがよい土壤で、午前中は日が当たる半日陰か、日なたが適しています。日陰でも比較的よく生育しますが、花数は少なくなります。

庭植えの場合、水やりは特に必要ありません。花が終わり、新芽が伸び出す前の3月下旬から4月上旬に、緩効性化成肥料を施します。また、花芽分化が終わり、涼しくなる9月下旬から10月下旬に、春と同様の肥料の半量を施します。剪定は開花後の



写真1 我家の庭に植栽されているアセビ(2024年11月26日撮影)

なるべく早い時期に花がら摘みを兼ねて軽く刈り込み、樹形を整えます。また、枯れ枝や重なり合った枝は、基部から切って風通しをよくします。太い切り口には、枯れ込むのを防ぐために癒合剤を塗りましょう。

我家では施肥や剪定等はほとんど行っていませんが、毎年花が咲いていますので、放任状態でもよい樹木ではないかと思います。



写真2 アセビの小さな花(2011年3月24日撮影)



写真3 アセビのさく果。(2024年11月26日撮影)



ステップアップ研修に参加して ～ ところが豊かになる花壇づくり～

花と緑の銀行 富山支店

神保地方銀行 頭取 中村 勇

私たちの地区では、これまでプランター栽培しかしてこなかったため、花壇づくりを通して花壇での草花の栽培に必要な知識・技術を学びたいと考えこの研修に参加しました。また、昨年、頭取・グリーンキーパーブロック研修で、千葉大学大学院の岩崎寛先生の「なぜ花や緑は社会に必要なのか ～心と体に優しい花と緑の力～」と題した講演を拝聴したことも、この研修に参加するきっかけとなりました。

初めに花壇のテーマやデザイン、花壇に向く植物の選定を行う段階でずいぶん悩みました。そんな時、グループのメンバーの中に花壇づくりの経験が豊富な方がおられたのはとても励みになりました。咲いた時の花のイメージが持てないと花壇のテーマやデザインがなかなか決められないことも学びました。あらためて、街で見かける花壇にも栽培する人の願いや思いが込められているのだと深く考えさせられました。花は見る人々の喜びや癒しとなって心に潤いや栄養をもたらしているのだと思いました。

実際に花壇実習が始まると、植物が好む土づくりがとても大切であり、健康な土はpH 5.5～6.5の状態であることや、堆肥や石灰の施用のタイミングについても学びました。さらに花壇づくりでは通路の設定も大切だと知りました。

5月下旬に植栽し、2週間ごとに花の世話をしました。この間、マルチングと補植、花柄摘みや剪定の仕方も学びました。今年は7～8月に猛暑日が

かつてないほど長く続き、その影響もあって手入れしても育たない花もあり、島先生からアドバイスしていただいたり、グループのみんなと考えを出し合ったりして世話をしてきました。秋に花壇いっぱい花が咲いた時はみんなで喜びました。たまたま園内を訪れたお客様が「見ごたえのある花壇ですね。」と言われた時はすごくうれしかったです。適切な指導やアドバイスを頂きましたスタッフの皆様には感謝しています。ありがとうございました。

また、9月の現地見学会では、長野県須坂市を中心にガーデンなどを見学しました。「ガーデンソイル」は、よく見かけるきれいで整った花壇とは異なり、土地柄や気候風土にマッチした、文字通りナチュラルで広大なガーデンでした。季節によって違った表情が見られるとのこと、味わいのあるガーデンだなと感心しました。須坂のオープンガーデン(内藤さん宅)は、内藤さんご夫妻の趣味の絵画やハーモニカも含め、目や耳だけでなく、心が穏やかになる素晴らしい空間でとても充実したひとときを過ごすことができました。見学会は花壇づくりのイメージづくりや励みになりました。自分の家でもガーデニングしてみたいという気持ちも湧いてきました。

この8か月間の研修で学んだことがらを地元のグリーンキーパーさんたちに伝え、今以上に地域の人たちが花を見て笑顔が広がる、明るい住みよい地域にしていきたいと思います。



4/17 花壇デザイン作成



6/12 マルチング・補植



8/21 メンテナンス作業



9/4 花壇で記念写真



9/11 現地視察(長野県須坂市)

・『令和7年度 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修』の受講募集は、2月上旬を予定しています。
・受講対象は、未受講の頭取・グリーンキーパーさんです。各支店(市町村担当課)までお問い合わせください。

とやまの花壇 ～ 南砺市 玉成花壇愛好会 ～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。
花とみどりの癒しのスポットを、是非、ご探訪ください。

1 花壇の特色

南砺市広安の福野南部交流センターの前に、玉成花壇愛好会が管理されている花壇があります。

平成16年に、福野南部農村公園が開設された際に、旧福野南部小学校グラウンドにあった花壇を移設して作られた花壇で、福野南部交流センターを訪れるみなさんの目を楽しませるといった目的もあったとのこと。

散居村の田園風景を望むことができる、地域のみなさんの憩いの花壇となっています。

《主な表彰歴》

令和元年度 県花のまちづくりコンクール (一般部門)	優秀賞
〃 2 〃 〃 (一般部門)	優良賞
〃 3 〃 〃 (一般部門)	優良賞
〃 4 〃 〃 (一般部門)	優秀賞
〃 5 〃 〃 (一般部門)	優秀賞
〃 6 〃 〃 (一般部門)	最優秀賞



写真2 玉成花壇愛好会の花壇 (令和6年度)

- ・また、隣接する水田では、合鴨農法による水稲栽培も行われており、栽培期間中はほぼ合鴨の鳴き声や泳ぐ音を聞くことができる。
- ・花苗を植え込んでから1か月程度は、念のため補植用コンテナを花壇の前に並べている。



写真1 玉成花壇愛好会の花壇 (令和6年度)

(2) 花壇づくりへの思い

銀行などから支給された花苗を主体に植栽してきましたが、グリーンキーパーの高齢化もあり、今後は1年草を若干減らして宿根草を導入した花壇づくりに変えていこうと考えています。

地域住民のみなさんから、花壇を褒めていただくたびに、取り組んでいる全員がやりがいを感じています。また、市外からもしばしば花壇の見学に来ていただいております。みんなでやっている毎週日曜日の共同作業の励みになっています。

現在取り組んでいるグリーンキーパーは平均年齢が75歳を超えており、今後予想される高齢のグリーンキーパーの交替に伴う技術継承や新たなグリーンキーパーの発掘などが今後の課題と思っています。

次年度から花のまちづくりコンクールでは、一番グレードの高いプレミアム花壇部門で競うこととなりますが、例年、審査が行われる8月上旬に花壇のピークを持っていく技術と梅雨時期の病気予防に挑戦したいと考えています。

(以上、玉成花壇愛好会代表 水野良平さんにお話を伺いました。)

2 活動概要

(1) 取組みと工夫

- ・花壇の中央に幅1mの通路があり、花壇が上下2段に分かれている。上と下で花種が重ならないよう、また、前年と異なるデザインで栽植を行うようにしている。
- ・例年、6月頃には花が咲きそろうので、作業終了後に、コミュニティーセンターの軒下から、作業に参加されたみなさんで花壇の出来栄について話し合うことで、次年度の花壇づくり、デザインに活かしている。
- ・6地域の行政区から選出されたグリーンキーパーが中心となって、1時間かかる毎日の水やりや花柄摘み、除草などの管理を行っている。
- ・隣接する水田で農家の方が柿などを無農薬で栽培されており、この花壇でも極力農薬は使用せず、アメリカシロヒトリなどの害虫は、高枝切りばさみで取り除いている。

●花壇の概況

- ・規模：320㎡
- ・見頃：7月～10月
- ・所在地：南砺市広安
福野南部農村公園内

花大好き仲間の紹介



花と緑の銀行 立山支店

五百石地方銀行 頭取 村田 彰

平成24年に五百石地方銀行の頭取に就任して12年間、生活地域である五百石エリアの緑化推進に私を含め8人（男5人、女3人）グループでワイワイ楽しく活動をしています。

主な活動場所は富山地方鉄道五百石駅周辺の花壇のほか、町の幹線道路（前沢中央公園線）の一区間600mの歩道にある街路樹花壇や、その沿道にある前沢中央公園の星形花壇と交差点公園L型花壇です。

現在エリアごとに担当を決めて水やり、苗の植栽、花柄摘みをしています。担当エリアは本人の自由意志に任せ、好きなデザインで花壇づくりをしています。

また、全員が集まるのはコンテナガーデンコンテスト参加と年に2回あるおもてなし花壇の制作のときです。「14歳の挑戦」で課外実習に参加

している中学生、指導役として参加している園芸店の皆さん等と一緒に作業しています。

ところで、今年からコンテナガーデンコンテストに5年ぶりにエントリーすることにしました。過去の作品では平成27年「立山の里山に春が来た」、平成28年「称名の春」、平成29年「春の弥陀ヶ原湿原」、平成30年「雪の大谷とミクリガ池」といった郷土観光シリーズをテーマにチャレンジしてまいりました。

今回は、また新たな気持ちでテーマを選定しましたので、本年の2月の出展に向け、全員で作品に取り組みますので、ぜひコンテスト会場に足を運んでいただければ幸いです。

今後も立山町の緑化推進に向けて取り組んでまいります。



写真1 五百石駅前花壇の整備



写真2 生徒と一緒に花植え

報告コーナー

「富山県花と緑の祭典2024 第52回花と緑の大会」を開催

「第52回花と緑の大会」を、10月23日（水）に富山県民会館において開催しました。

- ・大会では、花と緑の功労者表彰（知事表彰4個人1団体、理事長表彰24個人6団体）及び県花と緑のコンクール入賞者表彰（9個人23団体）が行われました。
- ・花と緑の講演会では、園芸家でNHK「趣味の園芸」などの講師を務める杉井志織さんから、「らくして、楽しい！園芸作業のススメ」と題して講演いただきました。



お知らせコーナー (1月~3月の主なイベント)

花とみどり・ふれあいフェア

1日 時 令和7年2月15日(土) 10:30~16:30

2月16日(日) 10:00~16:00

2場所 フューチャーシティ ファボーレ (富山市婦中町下轡田165-1)

3主要内容

(1) 花と緑の展示コーナー

・コンテナガーデンコンテスト : 2月7日(金)~16日(日)

・「わたしの寄せ植え」展 : 2月9日(日)~16日(日)

・花と緑のコンクール入賞作品展: 2月7日(金)~16日(日) など

(2) 花と緑の体験コーナー

・観葉植物の寄せ植え、フラワーアレンジメント など

(3) その他

・花の種無料貸し出しコーナー、コンサート など

◇お知らせ《ステップアップ研修》

研修の様子がインターネットのブログでご覧いただけます。
“普及研修部だより”で検索するか、下記URLを入力、または下記QRコードを読み取ってください。

・普及研修部だより

<http://fukyu-kensyu.cocolog-nifty.com/>



ステップアップ研修 (R6.9.3)

富山県中央植物園

- 第12回クリスマスローズ展 2月22日(土)~24日(月・振)
 - ◆栽培講習会 22日(土)・23日(日) 14:00~15:30
 - 第53回富山県蘭まつり大会 3月1日(土)~3日(月)
 - ◆栽培講習会 1日(土)・2日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30
 - 第21回雪割草富山県大会 3月7日(金)~9日(日)
 - ◆栽培講習会 8日(土)・9日(日) 14:00~15:30
 - お花見フェア 2025 3月29日(土)~4月13日(日) ※期間中は木曜日も開園
 - ◆ さくらマルシェ 3月29日(土)・30日(日)
 - ◆ 第14回さくらまつり (夜間開園) 4月4日(金)~7日(月)
 - ◆ 特別メニューの販売 (ココナッツアイランド)、野外コンサート、呈茶席 など
- ※栽培講習会の参加は無料ですが、別途入園料が必要です。
(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。)

~富山県中央植物園からのお知らせ~

令和7年3月1日から入園料を改定します。(例) 入園料: 大人500円 ⇒ 630円 (県条例の価格設定)

※ 詳しくは、富山県中央植物園ホームページ (<https://www.bgtym.org/>) をご覧ください。

県民公園 頼成の森

- 竹スキーづくり教室 1月26日(日) 9:30~12:00 定員: 20名 参加費: 600円
- 守り人と歩く頼成の森 2月2日(日) 9:30~13:00 定員: 20名 参加費: 500円
〈冬の森の中を探検しよう〉

(詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)

◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 234号

発行日 令和7年(2025年)1月
再生紙を使用しています。